

青森放送

活動名	社内見学
実施期間	令和7年10月～12月(見学実施期間)
実施回数	社内見学時10回 (11校)

【実施学校】 十和田市立十和田湖小学校、藤崎町立藤崎小学校、
五所川原市立いずみ小学校、青森市立浪岡南小学校、
青森市立本郷小学校、つがる市立稲垣小学校、
おいらせ町立下田小学校、平川市立松崎小学校、
五所川原市立市浦小学校、五所川原市立金木小学校、
青森市立浪岡北小学校

【事業実施の成果・課題】

- ・「ニュースができるまで」のVTR視聴により、現場の仕事の役割を具体的に分かりやすく受け止めてもらえました。
- ・子どもたちはDVDの「大雨中継」に強い関心を示していたようです。また、フェイクニュースについても「知りたい」という好奇心を多くの子どもたちから感じとることができたため、次年度の「メディアリテラシー授業」に生かしていきたいと考えています。
- ・VTR視聴時間(約20分)が調整可能になったので、対象となる学校すべてに視聴してもらえるようになりました。(遠方の学校も視聴可能になり喜ばれています)

【事業担当者・講師の感想】

- ・「正しい情報選択」にポイントを絞り、メディアリテラシーにおいては「自助」を大切にしてほしいことを説明しました。生成AIの広がりによるフェイクニュースなどを容易に信じず、上手に取り入れる習慣をつけるように児童たちと確認する時間をとったため、子どもたちの感想にも多く書かれていました。
- ・メディアリテラシーの学習は先生方からも好評で、「もっと時間をかけてほしい」「来年も新しい5年生に学ばせたい」とのお声を多く頂戴しました。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

＜教諭たちの感想＞

- ・テレビ放送がどのように作られているのか、仕事に対する思いや特に力を入れていることなどを詳しく教えていただき、テレビ局や番組に対する見方が変わったという子どもたちが沢山いました。
- ・今回の見学や DVD 視聴を通して興味をもったことなどをさらに調べ学習を深めていきたいです。
- ・初めて放送局を訪れた子どもたちは、テレビ局の仕事について沢山のことを知ることができたと嬉しそうに話していました。
- ・あらためて情報の大切さについて考えることができました。正しい情報か否かを自分で判断する力をつけるために、「自助」を忘れないでほしいという部分が子どもたちの心に残ったようです。

＜子どもたちの感想＞

- ・公共性、公益性、公平性ということがわかりました。
- ・熱血太郎の動画で公平性など、いろいろなことを教えてくれてありがとうございます。
- ・メディアやフェイク、うらどり、大切にしていること、心がけがわかりました。
- ・大雨や川がはんらんしたときは、安全な場所から中継することがわかりました。
- ・ぼくはこれから、フェイクニュースにだまされないように心がけようと思いました。
- ・「自助」という大事な言葉も覚えめました。何をやるにも努力してやることが改めて分かりました。
- ・「判断力をつける」…この言葉は心にグッときました。
- ・「自助」や「判断力」など大事なことを教えてくれたので、ふだんの生活に生かしていきたいです。
- ・情報を正しく覚えることなどがわかりました。これからは、あらゆる情報を正しく覚えたいです。